

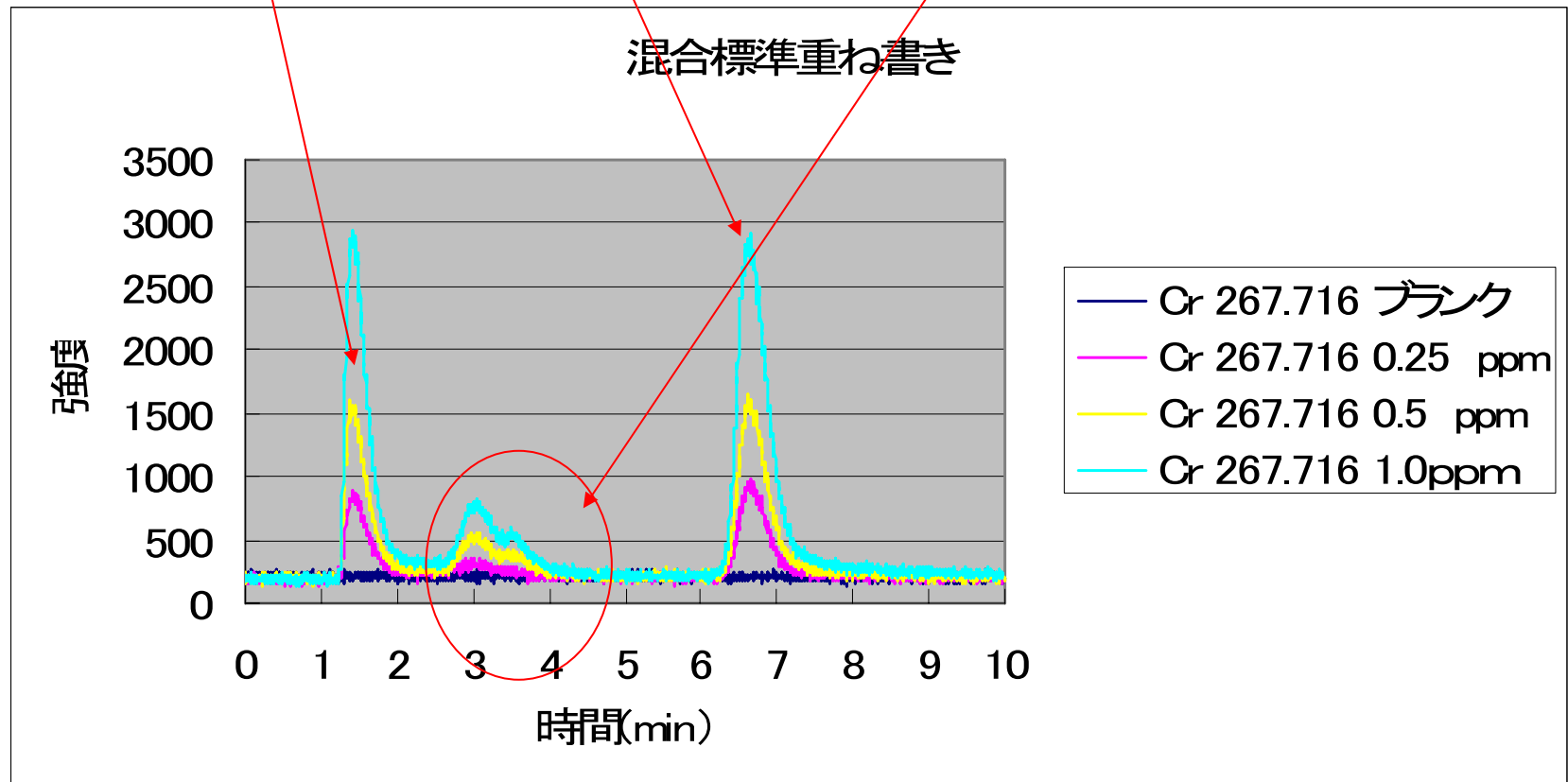
クロムメッキ材料中からの形態別Crの抽出 方法とIC-ICP発光分析手法の初期検討

ジーエルサイエンス株式会社
販売推進部 環境プロジェクト
古庄義明

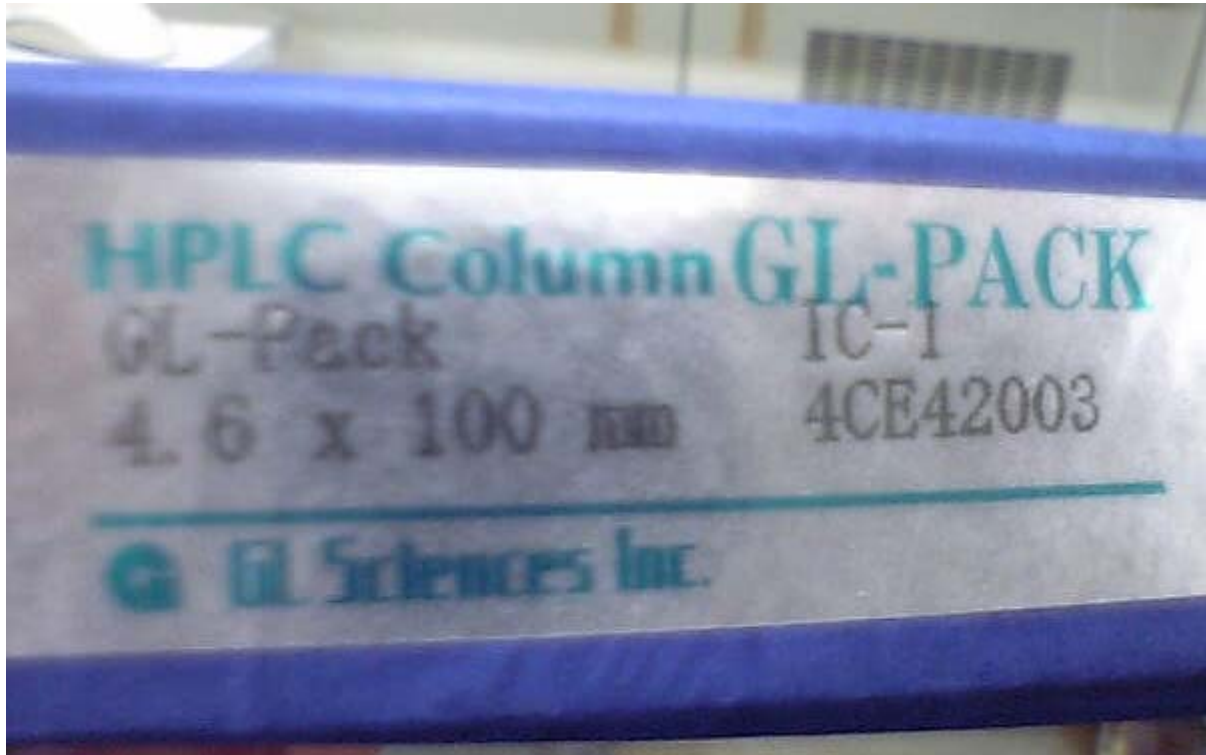
市販化合物の試薬を処理して3価クロムを作ると不純物ピークが出る可能性がある。Crショット固形物から調製することを推奨します。

Cr(3)

Cr(6)



Cr形態別分析用カラム GL-Pack IC-1 金属分析用にピークカラムです。



形態別分離用ノンメタル仕様ポンプ

低濃度分析では、駆動系、ラインがすべてノンメタルの方が有利です。



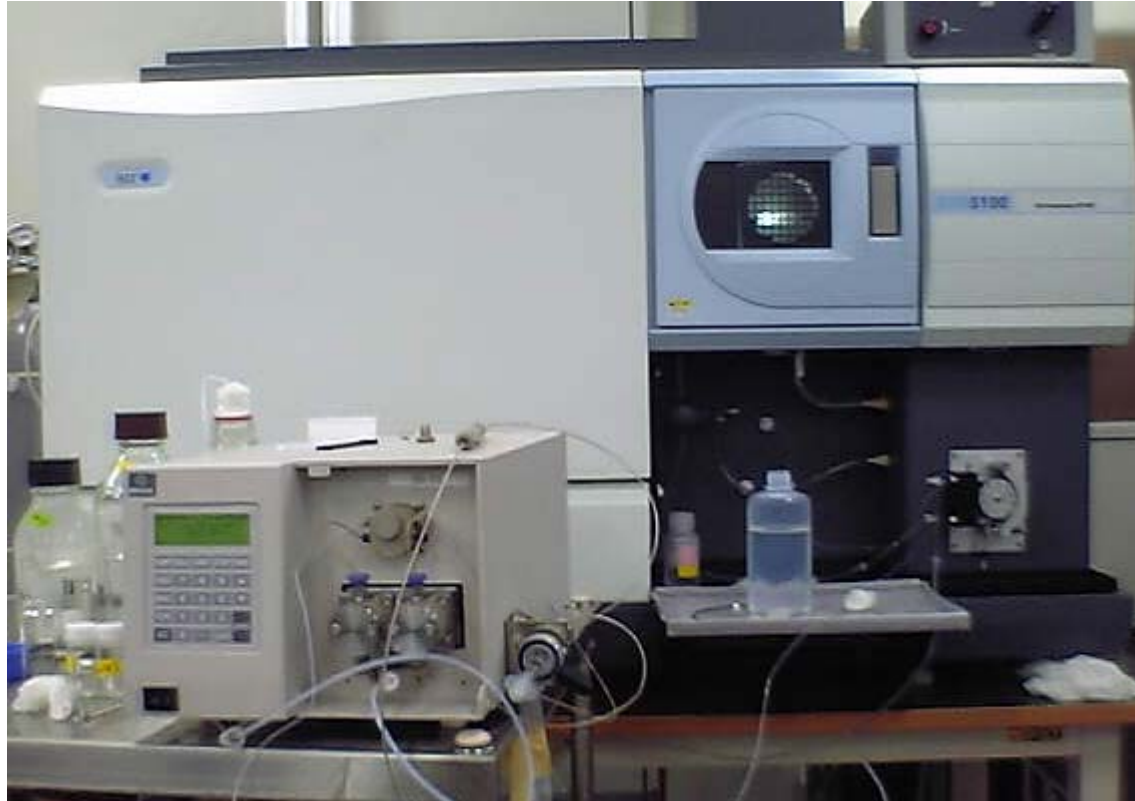
Cr(6)メッキがWEEE, RoHS関連で使用禁止になります。

Cr(3)メッキが業界では、検討されています。



このような材料中からのCr(6)の抽出は、JIS H8625に準じて行われます。検出は、ジフェニルカルバジド吸光光度法。または最近では、ICP発光で形態分析もされます。

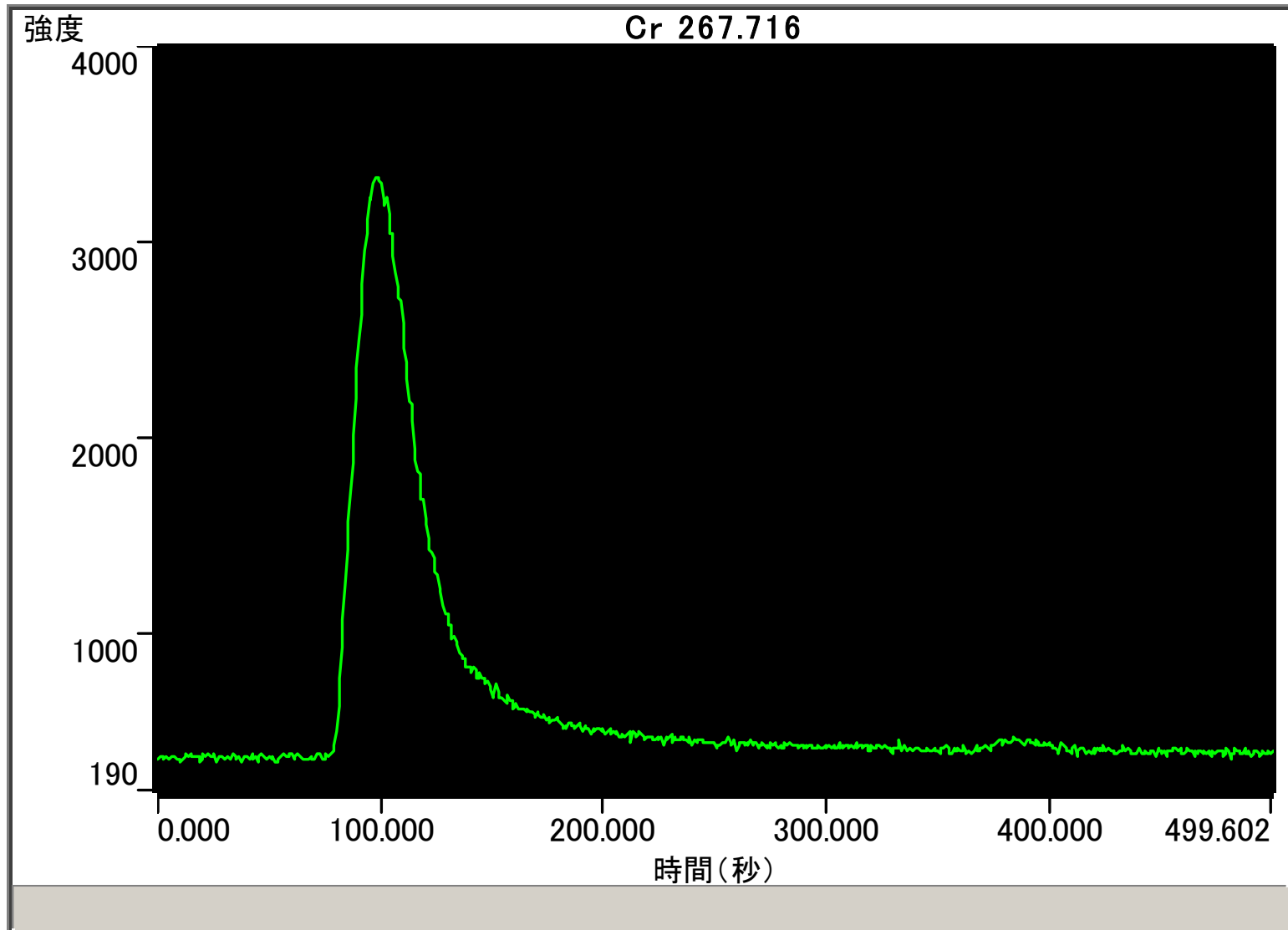
ノンメタルイナートポンプとICP発光 CCD検出器の組み合わせ



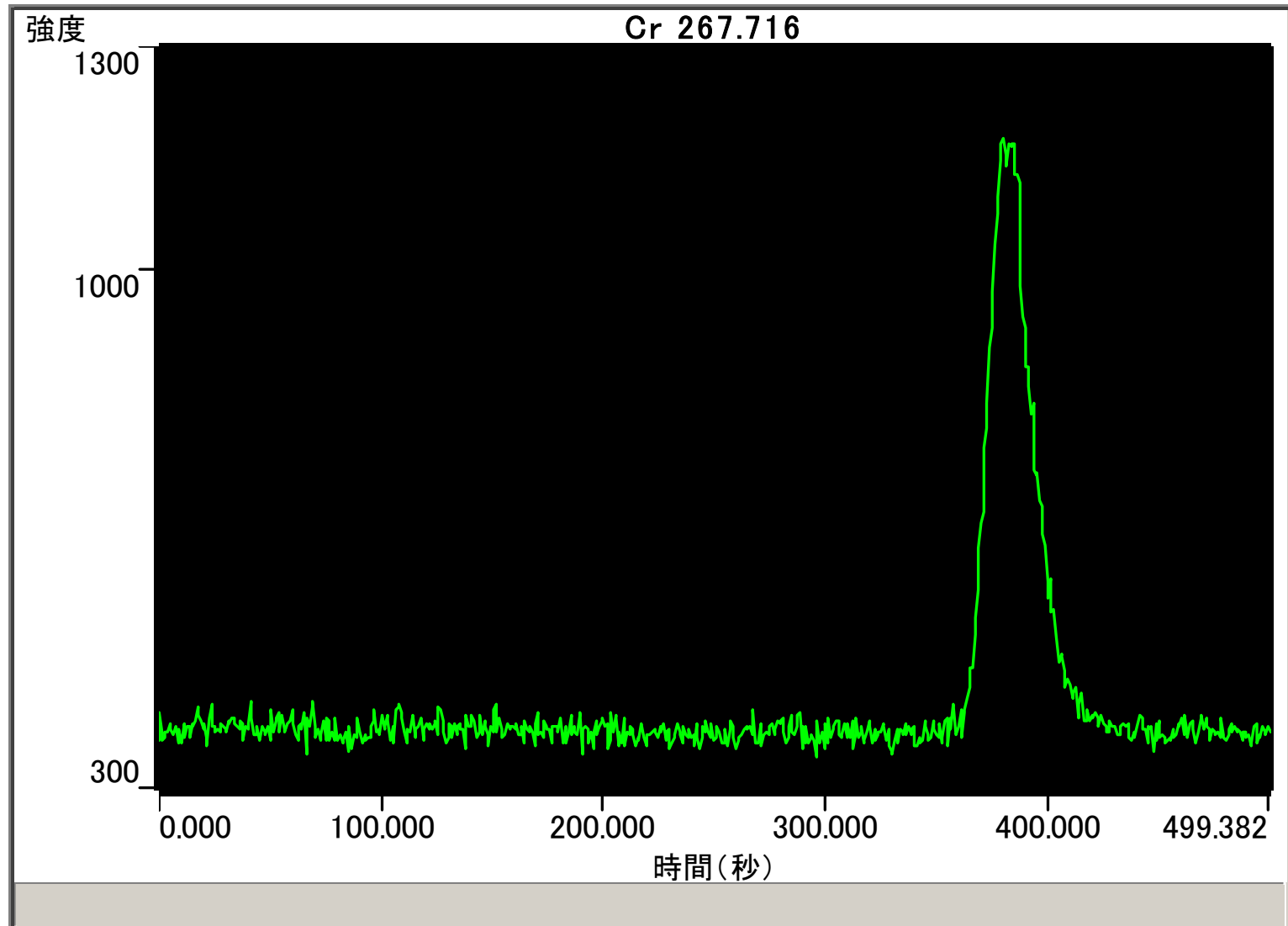
ノンメタルイナートポンプとICP発光シーケンシャル検出器の組み合わせ



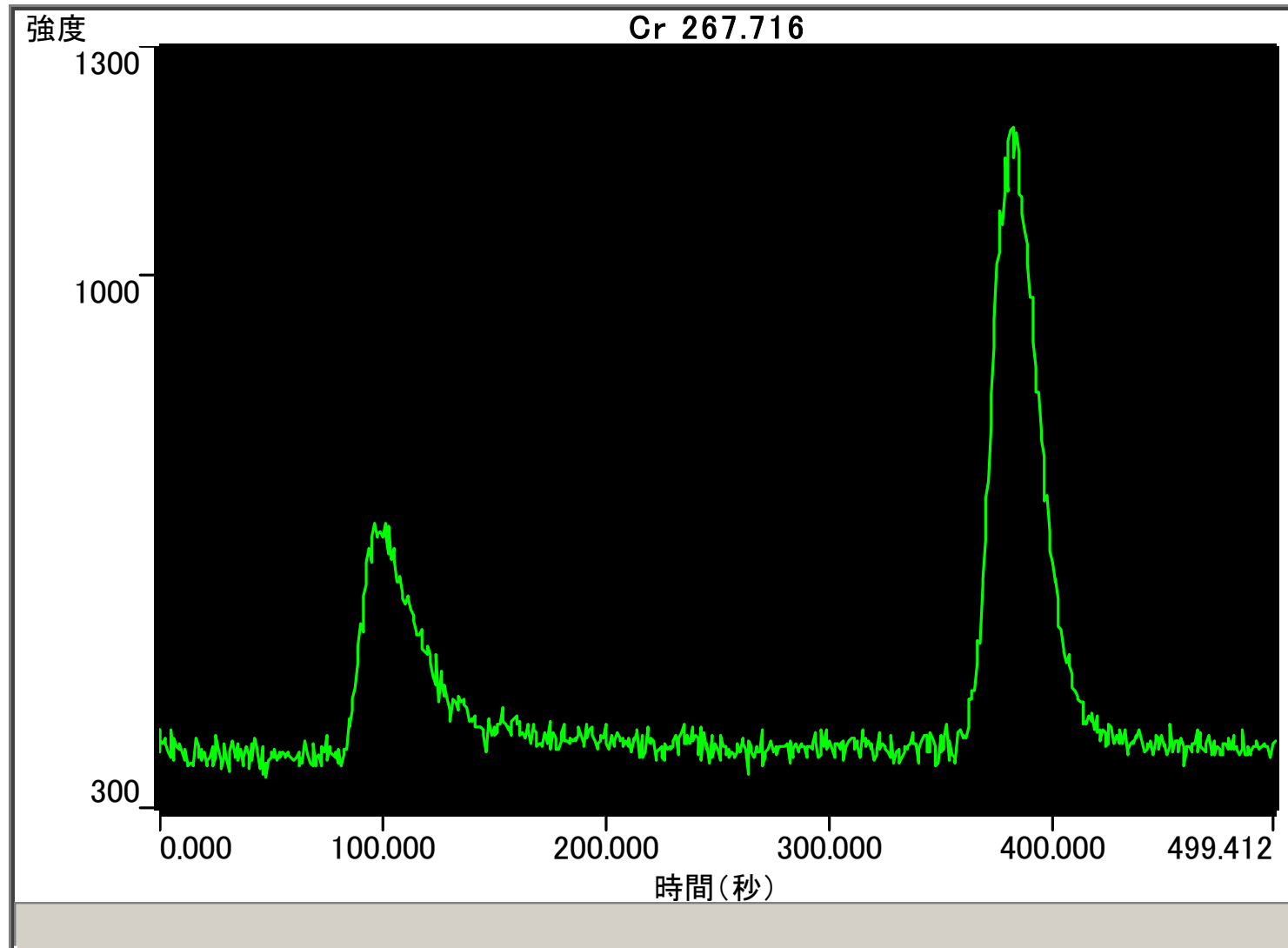
3価クロム0.1ppm



6価クロム0.1ppm



3価クロム + 6価クロム



6価クロムねじ熱水抽出

